

2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月10日

上場会社名 デンカ株式会社 上場取引所 東
コード番号 4061 URL <https://www.denka.co.jp>
代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）石田 郁雄
問合せ先責任者（役職名）コーポレートコミュニケーション部長（氏名）山本 浩之（TEL）03(5290)5511
半期報告書提出予定日 2025年11月10日 配当支払開始予定日 2025年12月2日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有（証券アナリスト、機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	196,699	△1.2	9,740	3.8	6,791	21.8	3,902	15.7
2025年3月期中間期	199,054	4.0	9,385	△10.9	5,574	△31.1	3,372	△48.6

（注）包括利益 2026年3月期中間期 △1,336百万円（—％） 2025年3月期中間期 13,579百万円（△28.5％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	45.28	—
2025年3月期中間期	39.14	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	636,208	310,403	46.1
2025年3月期	655,524	308,296	45.2

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 293,063百万円 2025年3月期 296,181百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	50.00	—	50.00	100.00
2026年3月期	—	50.00			
2026年3月期（予想）			—	50.00	100.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	400,000	△0.1	25,000	73.4	19,000	149.2	15,000	—

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期中間期	88,555,840株	2025年3月期	88,555,840株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	2,354,800株	2025年3月期	2,380,123株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2026年3月期中間期	86,185,629株	2025年3月期中間期	86,176,974株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
中間連結損益計算書	7
中間連結会計期間	7
中間連結包括利益計算書	8
中間連結会計期間	8
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当中間決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当期のわが国経済は、個人消費や設備投資が弱い動きとなるなど、景気は足踏み状態となりました。世界経済は、全体としては持ち直しましたが、米国の関税率引上げなどにより先行きは依然として不透明な状況にあります。

このような状況下、当社グループは、2023年度にスタートした8カ年の経営計画「Mission2030」に掲げる「事業価値創造」、「人財価値創造」、「経営価値創造」の3つの成長戦略にもとづく施策を推進し、業容の拡大と収益の確保に注力いたしました。

この結果、当中間連結会計期間の業績は、電子・先端製品の販売数量が増加しましたが、原燃料価格の下落に応じた販売価格の見直しや円高による手取り減があり、売上高は1,966億99百万円と前年同期に比べ23億54百万円（1.2%）の減収となりました。収益面では、営業利益は97億40百万円（前年同期比3億54百万円増、3.8%増益）となり、経常利益は67億91百万円（前年同期比12億17百万円増、21.8%増益）となりました。親会社株主に帰属する中間純利益は、期限を定めず暫定停止している米国の子会社デンカパフォーマンスエラストマー社に関わる特別損失を計上した一方で、特別利益として大船工場の工場用地の譲渡益を計上したことから、39億2百万円（前年同期比5億30百万円増、15.7%増益）となりました。

<電子・先端プロダクツ部門>

球状シリカは、生成AI向けの需要が拡大し増収となり、球状アルミナの販売も堅調に推移しました。また、アセチレンブラックの販売は、xEV向けは前年を下回りましたが、高圧ケーブル向けが前年を上回り、全体で増収となりました。このほか、高信頼性放熱プレート“アルシンク”は、電鉄向けの需要回復や直流送電向けの需要増加により増収となりました。

この結果、当部門の売上高は501億18百万円（前年同期比50億61百万円（11.2%）増収）となり、営業利益は63億6百万円と前年同期に比べ13億78百万円（28.0%）の増益となりました。

<ライフイノベーション部門>

POCT検査試薬は、新型コロナウイルスの感染者数が前年に比べ減少したことから、販売数量は前年を下回りました。また、その他の検査試薬の販売は、一部海外向けの不調もあり、前年を下回りました。このほか、インフルエンザワクチンは、計画通りの出荷となりました。

この結果、当部門の売上高は214億33百万円（前年同期比9億71百万円（4.3%）減収）となり、営業利益は38億20百万円と前年同期に比べ18億78百万円（33.0%）の減益となりました。

<エラストマー・インフラソリューション部門>

クロロプレンゴムの需要は引き続き低調に推移しました。このほか、農業・土木用途向けのコルゲート管の販売は前年並みとなりましたが、特殊混和材の販売は工事遅れなどの影響により前年を下回りました。

この結果、当部門の売上高は498億79百万円（前年同期比65億53百万円（11.6%）減収）となり、34億13百万円の営業損失（前年同期は営業損失30億33百万円）となりました。

<ポリマーソリューション部門>

当部門の製品は、原燃料価格の下落に伴う販売価格の見直しを行いました。AS・ABS樹脂やスチレンモノマーの出荷は前年を上回りましたが、デンカシングポール社のMS樹脂は前年を下回りました。このほか、食品包材用シートおよびその加工品の販売は、需要回復が遅れており、前年並みとなりました。

この結果、当部門の売上高は654億18百万円（前年同期比20億24百万円（3.0%）減収）となり、営業利益は15億円と前年同期に比べ8億88百万円（145.1%）の増益となりました。

<その他部門>

YKアクロス株式会社等の商社は取扱高が概ね前年並みとなりました。

この結果、当部門の売上高は98億49百万円（前年同期比21億32百万円（27.6%）増収）となり、営業利益は14億69百万円と前年同期に比べ2億42百万円（19.7%）の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ193億16百万円減少の6,362億8百万円となりました。流動資産は、棚卸資産の減少などにより前連結会計年度末に比べ196億91百万円減少の2,507億63百万円となりました。固定資産は、株式市況の上昇による投資有価証券の増加などにより前連結会計年度末に比べ3億75百万円増加の3,854億44百万円となりました。

負債は、工事未払金の減少などにより前連結会計年度末に比べ214億23百万円減少の3,258億5百万円となりました。

非支配株主持分を含めた純資産は前連結会計年度末に比べ21億7百万円増加の3,104億3百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の45.2%から46.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、最近の業績動向等を踏まえ、2025年5月13日に公表した2026年3月期通期連結業績予想を以下の通り修正いたします。

(1) 2026年3月期 通期連結業績予想(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	410,000	25,000	19,000	15,000	174.06
今回修正予想(B)	400,000	25,000	19,000	15,000	174.06
増減額(B-A)	△10,000	—	—	—	
増減率(%)	△2.4%	—	—	—	
(ご参考) 前期連結実績 (2025年3月期)	400,251	14,413	7,623	△12,300	△142.73

※上記の業績予想は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(2) 業績予測の修正理由

売上高の通期連結業績予想につきましては、原燃料価格の下落に応じた販売価格の見直しに伴い、ポリマーソリューション部門の製品の販売が当初の想定を下回る見通しであることから、2025年5月13日に公表した予想数値を見直しいたします。

なお、営業利益の通期連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、全社合計の予想数値は2025年5月13日に公表した予想数値を据え置き、セグメント別の内訳を見直しいたします。

(補足情報)

2026年3月期 セグメント別業績予想数値

(単位: 百万円)

		期初予想 (A)	今回予想 (B)	増減額 (B - A)
電子・先端プロダクツ	売上高	105,000	105,000	—
	営業利益	10,000	12,500	2,500
ライフソリューション	売上高	45,000	45,000	—
	営業利益	10,000	7,500	△2,500
エラストマー・ インフラソリューション	売上高	105,000	105,000	—
	営業利益	1,000	500	△500
ポリマーソリューション	売上高	135,000	125,000	△10,000
	営業利益	2,000	2,500	500
その他	売上高	20,000	20,000	—
	営業利益	2,000	2,000	—
合 計	売上高	410,000	400,000	△10,000
	営業利益	25,000	25,000	—

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	37,002	28,943
受取手形、売掛金及び契約資産	88,035	90,007
商品及び製品	89,988	80,500
仕掛品	6,565	4,691
原材料及び貯蔵品	33,951	32,763
その他	15,175	14,153
貸倒引当金	△262	△296
流動資産合計	270,455	250,763
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	85,794	84,459
機械装置及び運搬具(純額)	99,494	100,074
工具、器具及び備品(純額)	5,239	5,281
土地	63,674	60,538
リース資産(純額)	3,823	3,301
建設仮勘定	54,942	54,463
有形固定資産合計	312,969	308,118
無形固定資産		
のれん	10	—
特許権	396	334
ソフトウェア	1,828	1,692
その他	861	730
無形固定資産合計	3,097	2,758
投資その他の資産		
投資有価証券	48,702	54,356
長期貸付金	87	1,050
退職給付に係る資産	4,316	4,427
繰延税金資産	9,988	7,823
その他	5,985	6,987
貸倒引当金	△77	△78
投資その他の資産合計	69,002	74,567
固定資産合計	385,069	385,444
資産合計	655,524	636,208

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	48,023	41,032
短期借入金	74,679	59,713
コマーシャル・ペーパー	33,000	36,000
1年内償還予定の社債	15,000	—
未払法人税等	2,321	4,359
未払消費税等	262	384
賞与引当金	2,909	3,578
その他	54,304	40,811
流動負債合計	230,501	185,880
固定負債		
社債	15,000	15,000
長期借入金	80,000	103,548
繰延税金負債	3,777	3,794
再評価に係る繰延税金負債	8,613	8,613
退職給付に係る負債	2,506	2,488
株式給付引当金	145	87
その他	6,684	6,393
固定負債合計	116,727	139,924
負債合計	347,228	325,805
純資産の部		
株主資本		
資本金	36,998	36,998
資本剰余金	49,412	49,412
利益剰余金	167,074	166,663
自己株式	△7,786	△7,712
株主資本合計	245,698	245,362
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,062	15,328
繰延ヘッジ損益	△56	352
土地再評価差額金	10,161	10,161
為替換算調整勘定	26,104	19,604
退職給付に係る調整累計額	2,210	2,252
その他の包括利益累計額合計	50,483	47,700
非支配株主持分	12,114	17,339
純資産合計	308,296	310,403
負債純資産合計	655,524	636,208

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	199,054	196,699
売上原価	154,968	152,003
売上総利益	44,085	44,695
販売費及び一般管理費	34,700	34,955
営業利益	9,385	9,740
営業外収益		
受取利息	262	169
受取配当金	487	414
持分法による投資利益	1,332	1,023
その他	343	468
営業外収益合計	2,425	2,076
営業外費用		
支払利息	972	1,136
固定資産処分損	1,401	1,001
操業休止等経費	1,605	1,613
為替差損	53	294
その他	2,203	978
営業外費用合計	6,236	5,025
経常利益	5,574	6,791
特別利益		
投資有価証券売却益	328	—
固定資産売却益	—	8,188
その他	—	540
特別利益合計	328	8,728
特別損失		
事業整理損	636	9,415
特別損失合計	636	9,415
税金等調整前中間純利益	5,265	6,105
法人税等	1,793	4,253
中間純利益	3,472	1,851
非支配株主に帰属する中間純利益又は 非支配株主に帰属する中間純損失(△)	99	△2,051
親会社株主に帰属する中間純利益	3,372	3,902

中間連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	3,472	1,851
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,429	3,375
繰延ヘッジ損益	—	440
為替換算調整勘定	10,761	△7,166
退職給付に係る調整額	126	42
持分法適用会社に対する持分相当額	649	120
その他の包括利益合計	10,107	△3,187
中間包括利益	13,579	△1,336
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	12,910	1,120
非支配株主に係る中間包括利益	668	△2,456

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	5,265	6,105
減価償却費	13,652	14,439
のれん償却額	18	9
賞与引当金の増減額(△は減少)	311	703
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	138	△11
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	51
受取利息及び受取配当金	△749	△584
支払利息	972	1,136
持分法による投資損益(△は益)	△1,332	△1,023
投資有価証券評価損益(△は益)	—	2
投資有価証券売却損益(△は益)	△328	4
固定資産除売却損益(△は益)	282	△7,357
事業整理損	636	18
売上債権の増減額(△は増加)	2,252	△4,062
棚卸資産の増減額(△は増加)	△8,150	11,254
仕入債務の増減額(△は減少)	△9,610	△5,729
その他	794	△1,664
小計	4,152	13,291
利息及び配当金の受取額	1,906	987
利息の支払額	△976	△1,130
法人税等の支払額	△3,546	△1,618
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,536	11,530
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△30,712	△31,010
有形固定資産の売却による収入	2	11,340
無形固定資産の取得による支出	△298	△192
投資有価証券の取得による支出	△678	△80
投資有価証券の売却による収入	1,204	91
子会社株式の売却による収入	715	318
その他	△374	484
投資活動によるキャッシュ・フロー	△30,140	△19,048
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	39,313	△10,934
長期借入れによる収入	—	23,640
長期借入金の返済による支出	△5,000	—
社債の償還による支出	△7,000	△15,000
自己株式の取得による支出	△3	△2
配当金の支払額	△3,450	△4,313
非支配株主への配当金の支払額	△67	△100
非支配株主からの払込みによる収入	6,384	7,781
その他	△417	59
財務活動によるキャッシュ・フロー	29,759	1,130
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,925	△1,672
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	3,080	△8,059
現金及び現金同等物の期首残高	35,386	37,002
現金及び現金同等物の中間期末残高	38,466	28,943

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	電子・先端 プロダクツ	ライフイノ ベーション	エラストマ ー・インフ ラソリューション	ポリマーソ リューション	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	45,057	22,404	56,432	67,422	191,337	7,716	199,054	—	199,054
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	7	61	69	2,090	2,159	(2,159)	—
計	45,057	22,404	56,439	67,504	191,406	9,806	201,213	(2,159)	199,054
セグメント利益 又は損失(△)	4,927	5,699	△3,033	612	8,205	1,227	9,432	(46)	9,385

(注) 1. 「その他事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、プラントエンジニアリング事業、商社事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△46百万円は、セグメント間取引消去によるものです。

3. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 地域ごとの売上高に関する情報

(単位: 百万円)

	日本	海外			合計
		アジア	その他	計	
売上高	109,220	56,855	32,978	89,834	199,054
連結売上高に占める割合(%)	54.9	28.6	16.6	45.1	100.0

(注) 売上高は顧客の所在地を基盤とし、国又は地域に分類しております。

Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	電子・先端 プロダクツ	ライフイノ ベーション	エラストマ ー・インフ ラソリューション	ポリマーソ リューション	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	50,118	21,433	49,879	65,418	186,850	9,849	196,699	—	196,699
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	133	51	184	2,013	2,198	(2,198)	—
計	50,118	21,433	50,012	65,470	187,034	11,862	198,897	(2,198)	196,699
セグメント利益 又は損失(△)	6,306	3,820	△3,413	1,500	8,214	1,469	9,683	56	9,740

(注) 1. 「その他事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、プラントエンジニアリング事業、商社事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額56百万円は、セグメント間取引消去によるものです。

3. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 地域ごとの売上高に関する情報

(単位: 百万円)

	日本	海外			合計
		アジア	その他	計	
売上高	111,110	53,862	31,726	85,589	196,699
連結売上高に占める割合(%)	56.5	27.4	16.1	43.5	100.0

(注) 売上高は顧客の所在地を基盤とし、国又は地域に分類しております。